

【教育活動の名称】 地域とともに「もっとやってみよう！甲良東小！」

【副題】 コミュニティースクールの委員さん・地域のボランティアさんと取り組む学校づくり

【学校名】 甲良町立甲良東小学校

1 本校の概要

本校は、湖東地域の豊かな田園地帯にある全校 167 名の小学校である。近年、地域では少子高齢化が進み、児童数は減少の一途をたどっている。地域の学校に対する思いは強く、積極的に学校の取組に参加しようとする意識が高い。各学級も単学級となっているために、学年を越えたつながりや学校と地域のつながりを深める必要がある。



2 取り組んだ内容

(1) 絵本作家さんがやってくる

本校では、読み聞かせボランティアの「ブックぱれっと」さんが、継続的に子どもたちに読み聞かせをしていただいている。そんな中で、子どもたちの読書に対する関心が高まらないことが長年の課題であった。

そこで、「絵本作家さんに出会ってみたい。」という、図書委員会の子どもの発案から、近江八幡市在住の絵本作家はやしさんに来ていただくことになった。はやしさんは、当日だけではなく、事前に図書委員会との打合せにも来ていただき、ボランティアさんとも交流しながら、当日の内容を検討していった。

図書委員会では、事前にポスターを作成し、お手紙を書くなど、取り組むへの意識を高めていった。

当日は、図書委員会の子どもが司会・進行をし、ボランティアさんがフォローする形で進めていった。内容としては、読み聞かせ、絵本クイズ、絵本ができるまでのワークショップなど、学年に応じた活動を工夫していただいた。子どもたちは、絵本作家さんとの出会いに感激し、今後の読書活動の推進に意欲を持つことができた。活動のあとには、図書委員会の子どもたちがはやしさんの絵本にサインをしてもらい、今後の読書啓発につなげていく材料とした。また、行事の終了後には、はやしさんと「ブックぱれっと」さんで会食（じこ負担で実施）の機会を設定し、情報交流をするとともに、今後の活動の中で、はやしさんとのつながりを持



つなげていくように親交を深めることができた。

(2) オータムフェスティバル

本校の学校運営協議会の委員さんは、昨年度より、せせらぎ児童委員会（児童会）の役員と協議をすることで、全校の子どもたちが喜ぶこと、子どもたちが主体的に取り組めること、地域とのつながりが深まることについて検討し行事を計画的に進めてきた。

本年度は、その第2回目で、昨年度も好評であった「おもちつき」をすることになった。

学校運営協議会委員さんの「私たちは、みんなのために何でもしてあげたいけど、ただしてもらっているだけでなく、いっしょにやれたらうれしいな。」という意見を子どもたちが受けとめ、もちつきだけでなく、もちをついたあとの味付けや配布を子どもたちが取り組むことができた。



昨年度に引き続き、子どもたちの出店も開催したが、「昔あそびコーナー」では、委員さん・地域ボランティアさんの協力もあり、学校と地域が一体となる取り組みとなった。

また、運営委員さんからの働きかけで、「炭火でもちを焼こう」という取組を企画していただいた。子どもたちと委員・ボランティアの方が、昔のくらしの話をしながら、炭火をおこし、もちを焼くといった体験的な行事につながっていった。



3 活動の成果

いずれの活動においても大切にしてきたことは、子どもの主体的な活動である。そこに、協力し、ともに参加するボランティア活動となるように取組を進めてきた。また、今年度は、ボランティアさんからの積極的な働きかけや提案もあり、今回取組を実現したことで、学校と地域の取り組みがさらに深まり、次年度以降に続く取組としていくことができた。

また、図書委員会での取組が、他の委員会活動にも広がりを見せ、新しい企画や全校をつなげていく取組が数多く実施できた。